

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

単元名 地理的分野 身近な地域の調査

1 学年

- | | |
|---|---|
| 小 | 中 |
| 1 | 1 |
| 2 | ② |
| 3 | 3 |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |

背景

本単元は、地理的分野の学習の総まとめとして、これまで習得してきた視点や方法を活用して、自分たちが住んでいる身近な地域を調査する単元である。

そこで、調査対象を印旛沼周辺地域とすることで、印旛沼とその周辺地域の特色をとらえ、郷土を愛する気持ちを高めたい。印旛沼流域を調査する視点としては、①環境問題・環境保全、②人口や都市・村落、③歴史的背景、④産業、⑤他地域との結びつき、⑥生活・文化、⑦自然環境が挙げられる。そして、印旛沼の生態系の変化や水源としての印旛沼、印旛沼周辺都市の結びつき、印旛沼の水質汚濁の原因とその変遷、印旛沼周辺の環境にやさしい農業、印旛沼の観光資源、印旛沼の歴史など、生徒自身の興味関心に合わせたテーマを設定させたい。

そして、調査・発表を通して、印旛沼周辺地域の課題を見出し考察するなどの社会参画の視点を取り入れた探究的な学習を行いたい。そうすることで、主権者として印旛沼のこれから在り方や持続可能な発展の方法について模索するなど、印旛沼周辺地域の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を育むことができると思った。

ねらい

- 印旛沼周辺地域の調査・発表を通して、郷土を愛する力を高める。
- 印旛沼周辺地域の情報を収集し、それをもとに調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な調査テーマを設定できるようにさせる。
- 調査を通して、身近な地域の地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身につけさせる。

2 教科・領域

- | | |
|----|----|
| 国語 | 生活 |
| 社会 | 家庭 |
| 算数 | 図工 |
| 数 | 道徳 |
| 理科 | 総合 |

3 テーマ

- | |
|--------|
| 多様性 |
| 関連性 |
| 空間的広がり |
| 時間的变化 |

系統

- 小学校
3年「市の様子」
4年「千葉県の発展につくした人々」
5年「環境を守るわたしたち」
6年「町人の文化と新しい学問」

- 中学校 歴史的分野
2年「産業の発達と幕府政治の動き」
- 中学校 地理分野
2年「関東地方」
- 中学校 地理的分野
2年「身近な地域の調査」

資料・準備・関連機関等

- 資料
- ・いんばぬま情報広場HP (<http://inba-numa.com/>)
 - ・いんば沼のはなし（印旛沼環境基金、2019）
 - ・いんば沼～むかし、いま、そしてあした～（印旛沼環境基金、2009）
 - ・印旛沼ってどんな沼～私たちに何ができるか、考えよう～（千葉県、2006）
 - ・開拓維新記印旛沼の水土に挑む開拓精神
(関東農政局印旛沼二期農業水利事業所)
 - ・印旛沼環境基金HP (<https://www.i-kouiki.jp/imbanuma/>)
 - ・生きている印旛沼 民族と自然』白鳥孝治著（巣書房出版、2006）
 - ・印旛沼流域水循環健全化調査報告書第2号「印旛沼物語」（千葉県、2014）
 - ・こうすれば考える力がつく！中学校思考ツール（小学館）

4 資質・能力

- | |
|-------|
| 知識・技能 |
| 思考力 |
| 判断力 |
| 表現力 |
| 主態度 |

指導計画

時 配	学 習 内 容
1	身近な地域を見直そう
2(本時)	テーマを決めて調査計画を立てよう（本時）
3～4	資料を調べて調査活動
5～6	調査結果をまとめ、地域を見直そう
7	発表会をしよう
8	地域の課題や将来像を考えよう

5 指導時間

- ・準備 1時間
- ・授業時間 1時間

単元を通してねらう見方や考え方

地理的分野の学習の総まとめとして、これまで習得してきた視点や方法を活用して印旛沼周辺を調査する活動を通して、地域の課題とこれからの在り方について考察し、郷土を愛する力を育む。

本時の指導 2／8

- (1) 目標 ○調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組んでいる。（主体的に学習に取り組む態度）
○印旛沼周辺地域の特色や課題を見出すために適切な調査テーマを設定し、仮説を立て、調査結果の見通しや調査計画を立てている。（思考・判断・表現）

(2) 展開

学習過程	時配	学習活動と主な発問(○)	指導や支援(・)評価(☆)	資料
つかむ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○前時を振り返り、印旛沼周辺地図や写真をながめながら見出した疑問を思い出そう。 ・本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">印旛沼に関する調査テーマを決めて、調査計画を立てよう。</div>		印旛沼周辺地域の地図
見出す	10	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの日本の諸地域の学習を振り返り、7つの地域調査の視点とは何だろう。 <ul style="list-style-type: none"> ①環境問題・環境保全 ②人口や都市・村落 ③歴史的背景 ④産業 ⑤他地域との結びつき ⑥生活・文化 ⑦自然環境 ・自分たちが感じた疑問を視点ごとに分類し、自分たちの調査テーマを決定する。 例) 「印旛沼の環境保全の取り組み～水質ワースト1と言われる印旛沼は本当に生物にとって最悪な沼なのだろうか」 「印旛沼地域の自然環境～印旛沼の生態系はどのように変化したのだろうか」 「印旛沼の歴史～印旛沼はどのようにして洪水を減らすことことができたのだろうか～」 「印旛沼の未来～印旛沼の理想の姿とは～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容を思い出させながら、7つの視点を挙げていく。 	ワークシート ダウンドロード可能
	20	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの調査テーマに対する仮説を立て、「仮説思考ピラミッドストラクチャー」を活用しながら、調査活動の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマは「どのように～したのか」、「なぜ～なのか」といった形にまとめさせる。 <p>☆班員と協力しながら、調査テーマを決定する活動に意欲的に取り組んでいる。（主学態）</p>	「仮説思考ピラミッドストラクチャー」の図
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・次時から調査活動を始めるのに必要なものを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仮説思考ピラミッドストラクチャー」を記入させることを通して、複数の調査項目がそれぞれ調査テーマに対してどのような意味をもつのか、どのように調査資料を集めればよいのか吟味させる。調査活動全体を俯瞰させ、見通しや筋道を立てさせる。 <p>☆印旛沼周辺地域の特色や課題を見出すために適切な調査テーマを設定し、仮説を立て、調査結果の見通しや調査計画を立てている。（思判表）</p>	

(3) 板書計画

